

# いわての未来

岩手県広報誌

2019  
12月号



株式会社へラルボニーの  
松田文登さん・崇弥さんと  
るんびにいい美術館の皆さん

一人ひとりが  
いわての主演です！

特集1 誰もが活躍できる社会へ

特集2 子どもへの虐待をなくそう

聞こえていますか？  
子どもたちのSOS



**令和元年台風第19号で  
被災された皆さんのため  
全力で取り組みます。**

台風第19号は、沿岸部の広い範囲で記録的な大雨となり、各地で土砂崩れなどが発生し、甚大な被害をもたらしました。2千棟を超える住宅に被害が生じたほか、今年3月に全線開通した三陸鉄道では線路の基盤が流出

するなど大きな被害が発生しています。東日本大震災津波と平成28年台風第10号災害からの復興に取り組んでいる被災地を中心に、生活基盤や産業経済に再び甚大な被害をもたらしたことは、大変心が痛みます。お亡くなりになられた方々に、心から哀悼の意を表します。また、被災された皆さまに改めてお見舞いを申し上げます。

県では、被災した市町村それぞれの状況や被災された方の視点に立つて、関係機関と連携を図りながら、復旧・復興に向けた取り組みを進めていきます。また、農林水産業をはじめとする産業や、地域の足であるとともに三陸の観光を代表する三陸鉄道など、被災された皆さまの生活や仕事についても、しっかり支援していきます。



岩手県知事 達増 拓也

魅力わんこ盛りのいわてから、いいもの、面白いものをよりすぐり。毎回わんこきょうだいがナビゲートします。

今月のテーマ  
美しく使いやすい  
介護用食器

ちんこきょうだいの  
いわての  
**とってよき!**

機能性と美しさを両立

介護用食器という機能性に目がいきがちだけど、思わず手に取りたくなるような美しい食器があるんだ。県内の磁器・漆器・木工職人が力を合わせて作った「てまる」という食器シリーズだよ。

片手でも使える工夫を

「てまる」には、使いやすい工夫がいっぱい。片手でもすくえるように皿の縁に返しを付けたり、おわんに指が掛かるくぼみを付けたり。スプーンも握りやすいように持ち手を太くしているんだ。

岩手の介護用食器を世界へ!

介護用の食器だけど、普通の暮らしで使う人や子ども用にも買ってもらいたい。輸出も視野に入れているそうで、岩手のユニバーサルデザインが世界で活躍するかもしれないね。

体が不自由な人が  
使いやすい食器は  
みんなに優しいね。

「てまる」は、素材が、磁器、漆器、拭き漆の3つ。種類は、わん、皿、おかず鉢、カップ、スプーンの5つです。  
【問】滝沢市・陶楽(とうらい)019-618-9796

**被害状況**

被害状況(令和元年11月8日現在)

|                          |              |
|--------------------------|--------------|
| ■人的被害/死者                 | 2人           |
| ■住宅被害/全壊                 | 41世帯         |
| 半壊                       | 734世帯        |
| 一部損壊                     | 1,545世帯      |
| 床上浸水                     | 46世帯         |
| 床下浸水                     | 114世帯        |
| ■公共土木施設(河川・道路など)<br>の被害額 | 261億 2,900万円 |
| ■農林水産関係の被害額              |              |
| 農業                       | 18億 3,424万円  |
| 林業                       | 48億 4,037万円  |
| 水産                       | 26億 2,572万円  |
| 合計                       | 93億 33万円     |
| ■商工関係(企業など)の被害額          | 14億 927万円    |

**生活の再建に関する相談窓口**

| 支援制度        | 問い合わせ先                                 |
|-------------|--|
| 災害復興住宅融資    | 住宅金融支援機構 0120-086-353 (通話無料)           |
| 災害援護資金の貸し付け | お住まいの市町村                               |
| 生活福祉資金の貸し付け | 各市町村の社会福祉協議会、<br>県社会福祉協議会 019-637-4466 |
| 県税の減税措置     | 最寄りの広域振興局県税部・県税センター・県税室                |

**農林水産業の相談窓口**

今後の生産活動の継続や再開に向けて、県庁農林水産企画室と各広域振興局農政部・林務部・水産部に窓口を設置しています。

【問】  
県庁農林水産企画室  
019-629-5622

**中小企業の相談窓口**

日本政策金融公庫、商工中金、岩手県商工会連合会、岩手県中小企業団体中央会、各商工会議所などが窓口を設置しています。

【問】  
県庁経営支援課  
019-629-5544

**三陸鉄道への支援をお願いします**

三陸鉄道では、線路への土砂流入や土砂崩れにより複数の区間でバスによる代行輸送を行っています。一日も早い復旧のため、皆さまからの温かいご支援をお願いします。

- 「ふるさと岩手応援寄付」による支援  
寄付をいただいた方には、三陸鉄道に関連する返礼品を用意しています。クレジットカードや銀行振込、現金書留のほか、県庁窓口でも受け付けています。  
【問】 県庁税務課 019-629-5144
- 三陸鉄道への寄付  
銀行振込、現金書留のほか Yahoo! ネット募金でも受け付けています。  
【問】 三陸鉄道株式会社 0193-62-8900

**今月の表紙**

株式会社ヘラルボニーの松田文登さん・崇弥さんと、るんびにい美術館の皆さん

色鮮やかで幾何学的なパターン。規則的に続く円の連なり…。型破りで魅力的なアートを生み出す、花巻市の「るんびにい美術館」の作家たち。知的障がいを持つ彼らは、魂から湧き上がる表現を作品にぶつけます。

一工夫した作品をネクタイや傘のデザインに応用したり、工事現場の仮囲いにプリントしてまちを彩るなど、障がいのある方と社会をつなぐ活動をしているのが、株式会社ヘラルボニー。会社を率いる松田文登さんと崇弥さん兄弟は、二人の

兄・翔太さんが自閉症だったことから、「いずれは福祉を仕事に」と思うようになったと言います。

転機となったのは、るんびにい美術館との出会い。「作品からあふれる強烈な個性が素晴らしくて。知的障がいという個性があるからこそ描ける世界があると思います」と崇弥さん。

作家たちは「障がい者」ではなく、それぞれの世界を持つ唯一無二の「個人」。ヘラルボニーは、一人ひとりの価値観や意志を尊重しながら、その作品を新しい形で社会につなぐ仕組みづくりに取り組んでいます。

「僕らの目標は、障がい者に対する意識を変えていくこと。そのためにいろいろな方法でアプローチしていきたい」と、文登さん。障がいをもつ個性と認め合う社会を目指しています。



久慈市立長内中学校でのLGBT出前講座の様子。

【相談室のご案内】

■一般相談

家族のことや職場の人間関係、仕事、配偶者や交際相手のことなど、悩んでいることや困っていることを面接・電話により相談できます。年齢性別は問いません。お気軽にご相談ください。

電話：019-606-1762

時間：月・水・木・土・日 9:00~16:00、火・金 13:00~20:00

※電話相談のみ受け付けている曜日・時間帯もありますので、お電話で確認ください。

■LGBT相談

性指向や性別の違和感などで悩んでいる方の相談を受け付けています。

電話：019-601-6891

曜日・時間：火曜日・金曜日16:00~20:00

※ほかにも、男性相談や法律相談、女性のための就労支援相談などを行っています。



誰もが、自分らしく。  
一人ひとりが幸せになれる社会へ

岩手県男女共同参画センターでは、性別に関わらず、みんなが違いを認め合い、誰もが幸せに生きられる社会を実現するための取り組みを支援しています。具体的には、男女共同参画に関する意識啓発を行ったり、知識を学んでリーダーとして活動するサポーターを養成する講座や学校・企業での出前講座を開催したり、一般相談やLGBT\*相談をはじめとしたさまざまな相談への対応など、「情報」「学習」「相談」「交流」の場を提供しています。

今の社会には、男女間の差別や暴力に苦しむ人たち、性指向や性別の違和感など、性別に関わることで悩んだり、生きにくさを感じている人がたくさんいます。もし悩んでいたら、センターに相談してみませんか。また、イベントに参加して理解を深めてみませんか。共に考え、学び合いながら、もっと生きやすく幸せな社会をつくっていきましょう。

\*LGBT:レズビアン、ゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダー、それぞれの英語の頭文字から取った言葉で、性的少数者(セクシャルマイノリティ)の総称の一つです。

若者の活躍支援

視野を広げ、仲間をつくる場を提供し、  
一歩踏み出そうとする若者を後押し

県では、若者の活動・交流スペースとして、盛岡市の岩手県公会堂地下に「いわて若者カフェ」を開設しています。カフェには大小のイベントスペース、交流スペース、情報発信スペースがあり、無料で利用できます。また、カフェでは定期的にさまざまなイベントを開催しています。岩手で活躍するゲストと語り合う「カフェマスターと若者とのミーティング」や、県内外で先進的に活動するゲストを迎えてのワークショップなどを行う「カフェミーティング」、ニコニコ生放送を活用したインターネット番組「わいわいトーク」の配信などを行っています。

カフェに常駐するサポートスタッフの丹野晋太郎さんは「学びや仲間づくりの機会を提供し、若者が自分の進路を見つめたり、未来につながる何かを得ていただけたらうれしいです」と話します。カフェには無料Wi-Fiを完備していて、個人での利用も可能です。若者が新たな行動を起こすきっかけづくりの場となるよう解放していますので、お気軽にお立ち寄りください。



(写真上) 定期的にゲストを迎えて話を聞く、「カフェマスターと若者とのミーティング」の様子。

(写真左) サポートスタッフの丹野晋太郎さん。

特集1 誰もが活躍できる社会へ



一人ひとりが  
いわての主演です!

私たちは一人で生きていくことはできません。家族はもちろん、友人や周囲の人々と関わり合い、助け合いながら生きています。お互いを認め合うことで初めて信頼関係を築くことができますが、「自分と違う」「普通と違う」という価値観で、拒絶したり、遠ざけていることはないでしょうか。

一人ひとり個性が違うように、障がいも人種も性も年齢も一つの個性です。お互いの違いを価値として認め合い、誰もが自分らしく生きられる社会をつくることは、一人ひとりの幸福を実現することにつながります。そのためには、皆さんにさまざまな活動に主体的に参画してもらうことが必要です。

この特集では、女性や若者、障がいのある方、高齢の方々など、誰もが個々の才能や個性を生かし、生き生きと活躍できるように環境づくりをサポートする取り組みを紹介いたします。お互いを認め合い、それぞれの幸せを考えながら、自分が活躍できる場を見つけて活動してみませんか。

女性が働きやすい職場づくりを応援、  
100以上の企業が「認定」されています

県では、女性が活躍しやすい職場づくりに取り組む企業や団体を「いわて女性活躍認定企業等」として認定し、先進的な取り組みを紹介しています。平成31年4月に認定された盛岡市の株式会社ベアレン醸造所は、働き方改革を進める中で女性が働きやすい環境を整えています。

「工場の機械化を進めたり、仕事と子育ての両立を支援するなど、職場環境と制度の両面で取り組みを行っています。女性だけでなく、誰にとっても働きやすい職場づくりが目標」と、専務の嶋田(しまだ)洋一さん。総務チームリーダーとして、働き方改革を推進する菅原聡子さんは「スタッフ自らが職場を改善する意識を持つことが大事」と話し、社内報などを通して社員への意識啓発を行なっています。



株式会社ベアレン醸造所の専務・嶋田洋一さん(右)と総務チームリーダー・菅原聡子さん(左)。

高齢の方の社会貢献活動支援

高齢の方の活動をバックアップ、  
仲間と一緒に挑戦してもっと元気に!

健康を維持するために、ご近所仲間で立ち上げた一関市の「藤沢スポーツウェルネス吹矢愛好会」。胸式呼吸と腹式呼吸の両方を使う吹矢は、健康にもいいと好評で、16人の会員が競技を楽しんでいます。

「誰でも気軽にできますし、週に一度集まってワイワイ話すのが楽しみ」と話すのは、メンバーの畠山敏朗さん。地区内の競技交流会も多く、練習に励んでいます。

このような活動を支援しているのが、岩手県高齢者社会貢献活動サポートセンター。活動に関する相談や活動助成金に関する助言や支援などを行なっています。高齢の方も地域の大切な担い手。活躍できる場所や機会をどんどん広げて、積極的に挑戦しましょう。



「藤沢スポーツウェルネス吹矢愛好会」の皆さん。後列右端が畠山敏朗さん。

皆さんもいわてを創る  
参画者です。一緒にできる  
ことから始めてみませんか

「参画」とは、「取り組みや活動に計画段階から積極的に関わること」です。

「いわて県民計画(2019～2028)」では、「お互いに幸福を守り育てる希望郷いわて」を基本目標に掲げています。目標を実現するため、若者・女性の皆さんには、発想と意欲を生かして、高齢者の皆さんには、経験や知識・技能を生かして、障がい者の皆さんには、経験や知識・得意分野を生かして、さまざまな取り組みや活動に、どんどん「参画」してもらうことが必要です。

県では、みなさんの参画を確かなものとするため、性別や年齢、障がいの有無にかかわらず、生活や仕事、学びのそれぞれにおいて活躍できる社会をつくる取り組みを進めています。誰もがいわての主役として参画し、お互いに幸福を守り育てていきましょう。

生産現場と障がいのある方々をつないで  
両者の課題を解決し価値を生み出す

働き手を求めている農林水産業と、仕事と社会参加の場を求めている障がいのある方々をつなぎ、両者の課題を解決する「農福連携」。この取り組みを広げていくため、県ではマッチングの支援をはじめ、関係者向けの研修会や説明会、農福連携によって生産された農作物や加工品の販売などをサポートしています。

今年度から「連携」を始めたのは、株式会社耕野(花巻市)と北上アビリティセンター。耕野では料理に添えるリーフ栽培を行っており、その収穫作業や苗の入れ替え作業などを障がいのある方々が担っています。

「栽培施設を拡大するためお願いしたのですが、よく働いてくれて助かっています。地域貢献という面でも連携には大きな意味があります」と話すのは、耕野の代表取締役・安藤誠二さん。一方、北上アビリティセンターの所長・佐々木進さんは、「施設とは違う場所や人と働くのは利用者にとっても喜びであり、新しい仕事が身に付いてステップアップにつながります」と話します。これまで

接点がなかった両者が共に働くことで、仕事だけでなく、障がいに対する理解を深めることにもつながっています。



苗の入れ替え作業を行う北上アビリティセンターの利用者。



株式会社耕野の代表取締役・安藤誠二さん。



北上アビリティセンターの所長・佐々木進さん。



農福連携で生産された商品を表す「岩手県農福連携応援マーク」。

いわてアール・ブリュット巡回展

「アール・ブリュット」とは、美術的な教育を受けたり、技法や流行を追うのではなく、自らの内面から湧き上がった感情を思いのままに表現した作品のことです。近年では、知的障がいを持つ方々が作り出す作品が「アール・ブリュット」の一つの作品群として注目を集めていて、岩手でも

多くの作家たちが、日々、作品を生み出しています。12月以降は、奥州市と大船渡市で開催します。ぜひ、ご覧ください。

- 奥州市  
水沢メイプル(4階 産業文化ホール)  
令和元年12月4日(水)～24日(火)  
10:00～16:00
- 大船渡市  
サン・リア(1階 いこいの広場)  
令和2年1月7日(火)～19日(日)  
10:00～16:00



「人」 昆弘史



「無題」 工藤みどり



「火になることすら一瞬の動悸」 及川瑞樹

聞いていますか？  
子どもたちの

S  
O  
S

虐待はあなたの周りでも  
起こっているかもしれません

大人による虐待によって、子どもたちが命を落とす事件が相次いでいます。ここ岩手でも、県が設置する児童相談所と市町村が対応した児童虐待件数は、2018年度には過去最多の1983件となりました。虐待は4種類に分類されます。体に危害を加える身体的虐待。子どもへのわいせつ行為などを行う性的虐待。言葉による脅しや無視、子どもの目の前で暴力を振るうなどの心理的虐待。そして、家に閉じ

込める、食事を与えないなど、育児放棄や怠慢などを指すネグレクト。虐待を受けた子どもたちは、自己

評価が低く、人を信頼できなくなったり、成長に遅れを生じたり、問題行動を起こす場合があります。一方、虐待する保護者も、子育てや人間関係などの悩みを抱えていると言われています。

虐待は特別なことではなく、ごく身近で起こりうる問題です。子どもたちを守るために、周囲の大人たちはどうすべきなのか。一緒に考え、行動していきませんか。

### 心配な家族を地域でサポート

県では、虐待の相談・通告を受ける「児童相談所」を、盛岡市、一関市、宮古市の3カ所に設置しています。通告があった場合は、48時間以内に子どもの安全確認を行うルールが決められており、児童相談所の職員が出向くなどして状況を把握します。夫婦間での暴力が行われている場合にも、子どもの状況を確認し、それぞれの場合に合わせて助言を行い、必要なときには子どもが施設に入所することもあります。

また、市町村ごとに関係者が集まる「要保護児童対策地域協議会」では、定期的にさまざまな会議を開催。各地域で状況を共有しながら、虐待の防止対策などを検討しています。

虐待は特別な人が行ってしまいうけではなく、誰もが加害者になり得るものです。他人事と思わず、地域全体で子どもたちを見守っていきましょう。

【相談先】  
福祉総合相談センター 019-629-9605  
一関児童相談所 0191-21-0560  
宮古児童相談所 0193-62-4059

子育ての悩みを一人で抱えず  
相談することが大切です

虐待は、保護者と子どもの関係で完結する問題ではありません。例えば、父親の暴力によって母子ともに虐待されていたり、保護者が子育ての悩みを誰にも相談できず孤立していたり、その背景にはさまざまな問題が潜んでいます。

子育ては、自分の思い通りには進まないものです。子どもが言うことを聞いてくれないと、イライラすることは誰にでもあります。しかし、怒りをコントロールできずに、必要以上に叱ったり、体罰を与えていたら、保護者自身も追い詰められている可能性があります。

もし周囲に悩んでいる保護者がいたら、話を聞いたり、公的な相談窓口があることを教えたりしてあげましょう。また、本人に代わって相談してみるのも、一つの方法です。大切なのは、気になる保護者や子どもを放っておかないこと。左記の相談窓口は、匿名でも受け付けています。安心して相談してください。

し、怒りをコントロールできずに、必要以上に叱ったり、体罰を与えていたら、保護者自身も追い詰められている可能性があります。

もし周囲に悩んでいる保護者がいたら、話を聞いたり、公的な相談窓口があることを教えたりしてあげましょう。また、本人に代わって相談してみるのも、一つの方法です。大切なのは、気になる保護者や子どもを放っておかないこと。左記の相談窓口は、匿名でも受け付けています。安心して相談してください。

周りの大人たちに  
できること

頻繁に怒鳴り声や子どもの泣き声が聞こえたり、体にあざや傷が見えたり、何日も同じ服を着て不潔にしているなど、あなたの周りで見られる子どもはいませんか。他人の家庭に立ち入ることは、とても勇気がいることです。しかし、あなたの気づきが子どもたちを虐待から救い、命を守ることに繋がります。「虐待かな？」と思ったら、「189」に連絡をお願いします。

あなたの1本の電話で  
救われる子どもがいます。児童虐待かも  
と思ったらすぐにお電話ください。

いち はや く  
児童相談所 全国共通  
3桁ダイヤル 189

・お住まいの地域の児童相談所につながります。  
・情報が間違いであっても責任は問われません。  
・通告者の秘密は厳守します。匿名でも構いません。  
・令和元年12月以降、通話料は無料です。(一部のIP電話からはつながりません。)

### 子育てに関する相談窓口

すこやかダイヤル  
(岩手県生涯学習推進センター)  
0198-27-2134

子育てのことなら何でも相談できます。専門の相談員がお話を伺いますので、お気軽にお電話ください。

月～金曜日 10:00～17:00(祝日を除く)

子ども・家庭テレフォン  
(岩手県福祉総合相談センター)  
019-652-4152

専門の相談員がお話を伺い、内容によっては弁護士や医師などの専門家の意見も取り入れながらサポートします。

月～日曜日 9:00～22:00

祝日 9:00～17:45(年末年始を除く)

### オレンジリボン



子どもの虐待を防止するためのシンボルマークです。子育てを温かく見守り、サポートする意志があることを示しています。

### 気づいてください、 子どもと保護者からのサイン

虐待を受けている子どもや虐待をしている保護者には、次のような特徴が見られます。

#### 【子どもからのサイン】

- ・泣き叫ぶ声が頻繁に聞こえる。
- ・不自然なあざ、打撲、やけどなどが見られる。
- ・表情が乏しく活気がない。
- ・衣服や身体が極端に不潔である。
- ・ひどく落ち着きがなく乱暴、情緒不安定。
- ・食事に異常な執着を示す。
- ・夜遅くまで遊んでいた、徘徊している。
- ・理由もなく、保育園や学校を休みがち。など

#### 【保護者からのサイン】

- ・子どもを怒鳴りつける声がよく聞こえる。
- ・小さい子どもを家に置いたままよく外出する。
- ・子どもの養育に関して拒否的、無関心である。
- ・気分の変動が激しく、子どもや他人にかんしゃくを爆発させることが多い。
- ・子どもがけがをしたり、病気になっても医者に診せようとしなない。
- ・子どものけがや欠席について不自然な説明をする。
- ・地域や親族などと交流がなく、孤立している。など

？ ご存じですか？

政策評価レポート2019

県では、政策評価の結果などをまとめた報告書を作成しています。県ホームページのほか、県庁行政情報センターなどでもご覧いただけます。

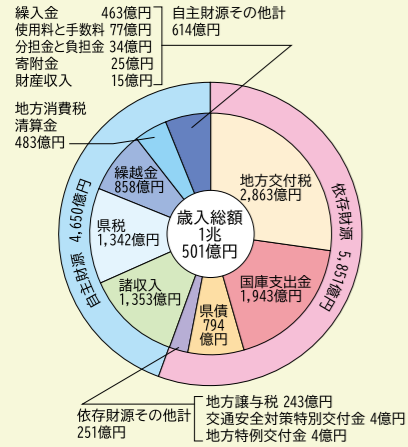
県サイト内ページ番号検索 1011485

【問】県庁政策推進室 019-629-5181

平成30年度一般会計歳入歳出決算の概要をお知らせします。

歳入

県に入ったお金を示す「歳入」の決算額は1兆501億円で平成29年度より418億円、3.8%減少しました。減少額が大きかったものは、繰越金(△307億円)、繰入金(△60億円)です。一方、増加額が大きかったものは、県債(+30億円)、県税(+29億円)です。

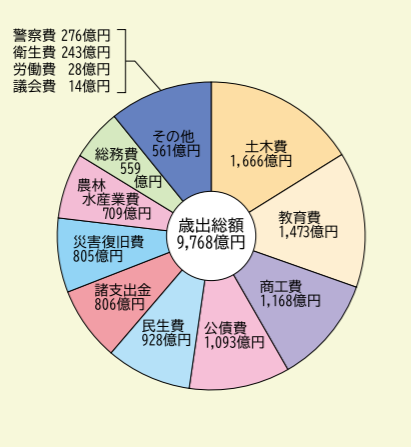


歳入と歳出の差額733億円のうち、翌年度に繰り越す財源は542億円で、これを差し引いた実質収支は191億円の黒字となっています。

【問】県庁出納局 019-629-5991

歳出

県が使ったお金を示す「歳出」の決算額は9,768億円で平成29年度より292億円、2.9%減少しました。減少額が大きかったものは、土木費(△96億円)、公債費(△84億円)です。一方、増加額が大きかったものは、総務費(+39億円)、諸支出金(+22億円)です。



【問】県庁出納局 019-629-5991

県サイト内ページ番号検索 1021909

広域振興局保健福祉環境部です。

県サイト内ページ番号検索 1003884

【問】県庁子ども子育て支援課 019-629-5457

雇用を確保するための助成金

県では、沿岸12市町村に所在し、国または自治体の補助金・融資事業などを活用している事業所が求職者を雇用した場合、1人当たり、3年間で最大120万円を助成しています。また、雇い入れに先立って住宅支援の導入などを行った場合には、1年間で最大240万円を助成しています。

【申請期限】令和2年1月31日(金)

県サイト内ページ番号検索 1017342

【問】岩手県事業復興型雇用創出助成金事務センター 019-601-5263

森林所有者の皆さんへ

森林の手入れをすることは、良質な水の供給や土砂災害の防止など、私たちの暮らしに多くの恵みをもたらすことにつながります。県では「いわての森林づくり県民税」を活用し、手入れの行き届いていない人工林を所有者に代わって間伐しています。詳しくは県庁林業振興課、またはお近くの広域振興局林務担当までご相談ください。

県サイト内ページ番号検索 1008301

【問】県庁林業振興課 019-629-5775

県が購入する物品などの競争入札参加資格の申請について

県が購入する物品や印刷物などの入札・見積合わせへの参加には、物品購入等競争入札参加資格が必要です。令和2年4月から令和5年3月までの申請書を1月6日から受け付けます。【受付期間】令和2年1月6日(月)~31日(金)

県サイト内ページ番号検索 1010561

【問】県庁出納局 電話019-629-5972、019-629-5966 または最寄りの広域振興局審査指導監

危険予測シミュレータを使った参加・体験・実践型の交通安全教室

岩手県警では、交通安全意識の向上を目的として、ドライバー向けの危険予測シミュレータを活用した交通安全教室を行っています。運転を疑似体験しながら、道路に潜むさまざまな危険を予測し、事故を回避するポイントを学ぶことができます。地域や職場の集まりでも開催できますので、お気軽にお問い合わせください。

【問】各警察署または警察本部交通安全企画課 019-653-0110

！ ご協力ください

野鳥への餌付けはやめましょう

野鳥への餌付けは、野生動物を人の生活圏に引き寄せたり、野鳥が人の与える食べ物に依存してしまったり、生態系や鳥獣の保護などに影響を及ぼす恐れがあります。また、餌付け場所に野鳥が密集することで、高病原性鳥インフルエンザウイルスなどの拡大をまねく恐れがあります。

県サイト内ページ番号検索 1005494

【問】県庁自然保護課019-629-5371

募集します

「岩手県学生会館」の入寮生

東京都豊島区にある岩手県学生会館では、2020年4月からの入寮生を募集します。

【募集人数】38人程度 (男子20人程度、女子18人程度)

【面接日】 第1回:令和2年2月15日(土) (申込受付:1月20日(月)~2月10日(月))

第2回:令和2年3月12日(木) (申込受付:2月17日(月)~3月9日(月))

【面接会場】アイーナ 8階会議室

【選考方法】面接、書類、作文

【費用】寮費80,000円/月(朝夕2食付き) 入寮時の諸費用 100,000円

【問】岩手県学生会館 03-3972-4783

お出かけください

宮古・室蘭フェリーで冬の北海道を満喫してみませんか？

宮古・室蘭フェリーでは、乗船運賃が4割引となるキャンペーンを令和2年1月31日まで実施しています。

Table with 2 columns: Route (宮古発, 室蘭発) and Time (9:25, 20:50). Includes arrival times at 室蘭 and 宮古.

Table with 3 columns: Vehicle length (4m, 5m, 6m), Standard fare (21,180, 26,480, 31,780), and 40% discount fare (12,700, 15,900, 19,100).

県サイト内ページ番号検索 1016700

【問】県庁港湾課 019-629-5912

県南レジェンドランナーズ 2020シリーズ

県南地域で開催される11のマラソン大会に台湾の大会を加えた12大会のうち、いくつかの大会に出場し完走できるかを競うイベントです。参加登録者には、大会などで身につけられるシリコンバンドをプレゼントするほか、出場・完走回数に応じて記念品を贈呈します。速さや距離は問いません。皆さまのご参加をお待ちしています。

県サイト内ページ番号検索 1023006

【問】県南広域圏スポーツ等連携事業実行委員会(県南広域振興局) 0197-22-2812

震災からの歩み (主なもの) 令和元年9月

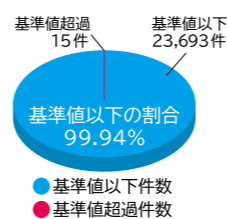
- 9月 11日 釜石市鶴住居町にスーパーマーケットなどの小売り業やサービス業が入居する「うのポート」がオープン
22日 陸前高田市の高田松原津波復興祈念公園内に東日本大震災津波伝承館と道の駅「高田松原」が開館、国営追悼・祈念施設の一部がオープン
25日 釜石市鶴住居復興スタジアムで「ラグビーワールドカップ2019™日本大会」フィジー対ウルグアイの試合が行われる
29日 大槌町立吉里吉里学園中学部の校庭に整備されていた応急仮設住宅が解消され引き渡し式が行われる

【被害状況】10月31日現在

- 死者5,143人(震災関連死469人を含む)
行方不明者1,113人(うち死亡届の受理件数1,104件)

放射線影響対策のお知らせ No.34

県産食材などの放射性物質濃度検査 県産食材などの放射性物質濃度検査結果 (H30年度)



【問】(県産農林水産物の検査)県庁農林水産企画室 019-629-5621
(流通食品の検査)県庁県民くらしの安全課 019-629-5322
(全般)県庁環境生活企画室 019-629-6815

広聴広報ガイド

県ホームページ https://www.pref.iwate.jp/



ご意見・ご提言はこちら

手紙・はがき 〒020-8570 (住所不要) 岩手県広聴広報課
電子メール koucho@pref.iwate.jp
電話 019-629-5110
受付時間 8:30~17:00 (土・日・祝日・年末年始を除く)

F A X 019-651-4865 [24時間受付]



そばっちゃんが、いわてのことをつばやくよ！ みんな拡散してね！

「いわてグラフ」の気になる情報や暮らしに役立つ情報を、そばっち独自の切り口で楽しくご紹介！取材に同行して県内を飛び回り、現場の臨場感を熱く!? お伝えします。

岩手県広聴広報課 ツイッター・フェイスブックはこちら！



県政テレビ番組 「いわて! わんこ広報室」 毎週放送中!!

- テレビ岩手 月曜日 18:54~19:00 (再放送)土曜日 21:54~22:00
岩手めんこいテレビ 水曜日 21:54~22:00
岩手朝日テレビ 水曜日 23:10~23:15
IBC岩手放送 木曜日 18:55~19:00

※都合により放送時間が変更になることがあります。

## 甘くておいしい 寒じめ ほうれんそう

「寒じめほうれんそう」は、久慈地域の冬の特産品。目に良いとされるルテインのほか、代謝改善に役立つ葉酸や、視力維持を助けるビタミンAなど栄養が豊富です。調理の工夫でいろいろな楽しみ方ができます。

### あったか冬野菜ポタージュ

【材料(4人分)】

- A 寒じめほうれんそう(ゆで)150g  
しょうが(みじん切り)5g
- B かぼちゃ(ゆで)100g  
じゃがいも(ゆで)1個  
コンソメスープ 300mℓ
- C 牛乳 250mℓ  
りんご(すりおろし)100g  
バター 20g  
玉ねぎ(薄切り)1/2個  
塩・コショウ 少々  
ベーコン 50g  
サラダ油 適量  
生クリーム 30mℓ

【作り方】

- ① Aをバターで炒める。
- ② ①とBをミキサーにかける。
- ③ 玉ねぎを炒め、②とCを加えて煮詰め、塩・こしょうで味を整える。
- ④ ベーコンをカリカリに炒める。
- ⑤ ④と生クリームをトッピングする。

お問い合わせ先

県北広域振興局 農政部  
0194-53-4983



# いわて ハッピーライフ



盛岡市在住。「Elegance」やWEBなどで作品を多数発表。代表作は『レモネード』『ピースを探せ』など。岩手の魅力を発信する『コミックいわて』にも漫画を執筆。

Vol.9 寒じめ  
ほうれんそう  
を食べよう!  
の巻

栄養も豊富で  
機能性食品として  
認められてるんで  
すよー

## アンケート&プレゼント

- (1) 記事は分かりやすかったですか？(番号で回答)  
 ①非常に分かりやすい ②分かりやすい ③普通 ④分かりにくい  
 ⑤非常に分かりにくい ※④または⑤の方は、どのような点が分かりにくかったかお書きください。
- (2) 今回の企画に興味を持ったものは何ですか？
- (3) 身の回りで知りたい分野は何ですか？(番号で回答・複数回答可)  
 ①産業 ②医療・福祉 ③防災 ④教育・文化 ⑤環境 ⑥社会資本整備  
 ⑦その他 ※⑦その他の方は、関心があるものをお書きください。
- (4) 本誌へのご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

### アンケートにお答えいただいた皆さまの中から抽選で合計8名様にプレゼント。

住所・氏名・年齢・性別・職業・電話番号・ご希望のプレゼントのアルファベット記号(AまたはB)をお書きの上、はがき、FAX、電子メール、または右の二次元バーコードを読み込んで、応募フォームから応募ください。  
 ■送り先 ○はがき 〒020-8570(住所不要) 岩手県広聴広報課「いわてグラフ12月号・読者アンケート」係  
 ○FAX 019-651-4865 ○電子メール kouhou@pref.iwate.jp ■応募締切 / 2020年1月17日(金)当日消印有効 ■当選発表 / 商品の発送(2月上旬ごろ)をもって代えさせていただきます。

**A**

**粉雪ビスキュウ 5名様**  
 (平泉町)  
 ふわりと淡く、まるで粉雪のような口どけです。県産米「金色の風」を使用した米粉クッキーをホワイトチョコでミルクレークに仕上げました。  
 【問】株式会社松栄堂  
0191-34-1333

**B**

**鮭の浜っこあげ 3名様**  
 (岩泉町・田野畑村)  
 小本川産の鮭を独自の調味で加工したさつま揚げ。おつまみやおやつのほか、煮物や熱々のおでんで楽しむのもおすすめです。3枚入・3パック。  
 【問】浜の駅おもと愛土館  
0194-32-3288



※ご記入いただいた個人情報やアンケートの内容につきましては、厳正な管理の下で取り扱い、アンケート集計、プレゼントの発送にのみ利用させていただきます。  
 いわてグラフは岩手県が制作する広報誌です。517,000部作成し、県内全世帯に配布しています。1部当たりの単価は、約18円です。